

2025年01月28日(火)【外為Lab】松田哲

タイトル:【トランプ新政権の政策】

個人的な感想ですが、昨年(2024年11月5日)の米国大統領選挙で、トランプ氏が勝利して以降のドル円相場は、概して「ドル高円安」の傾向にあったように映ります。

そして、トランプ氏が大統領に就任(2025年1月20日)してからのドル円相場は、「ドル安円高」傾向に推移しているように映ります。

その背景には、トランプ新政権は、  
『強いアメリカを目指し、強硬的な貿易政策を推し進めるだろう』  
といった思惑が、「ドル高」を惹起しているのだ、と推測しています。

一方で、大統領就任式(2025年1月20日)以降のマーケット(外国為替市場)には、貿易対策で、米国の輸出を有利にするために、  
『トランプ大統領が、「ドル安政策」を採るのではないか』  
といった思惑が、働いているのだろう、と推測しています。

+++++

トランプ新政権の貿易対策では、事前に想定していた通りに、関税を引き上げる等の強硬策が、すでに発表されています。

しかし、その強硬の度合いですが、マーケット(外国為替市場)が、事前に思っていた程、強硬ではない、といった印象も、確かに見られます。

トランプ大統領は、強硬策を小出しにして、相手国の出方(様子・反応)を窺っているように思われます。

+++++

外国為替市場での最も重要なファクター(材料)の一つは、「米国の姿勢」である、と考えます。

だから、トランプ新政権が、  
『「ドル高政策」を採るのか、「ドル安政策」を採るのか』  
を判断することは、最重要の課題だ、と考えます。

ただし、このテーマに関しては、現時点では、まだ、判然としていない、と考えます。

だから、マーケット（外国為替市場）も気迷い気味に、ドル高に動いたり、ドル安に動いたり、上下動を繰り返しているのだ、と考えます。

+++++

現時点では判然としなくとも、時間が経過すれば、いずれ明らかになる、と考えています。

それまでは、暫し我慢。

トランプ新政権の政策を見守りたい、と考えています。

+++++

+++++

（2025年01月28日東京時間14:00記述）